

地域医療支援病院業務報告書

2023年 9月 19日

愛知県知事殿

開設者 住 所

〔法人の場合は、主たる〕
〔事務所の所在地〕

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98

学校法人 藤田学園

氏 名

〔法人の場合は、名称及〕
〔び代表者の職・氏名〕

理事長

下記のとおり、令和4年度の業務に関して報告します。

記

1 病院の名称等

名 称	藤田医科大学ばんだね病院					
所 在 地	名古屋市中川区尾頭橋三丁目6番10号					
診 療 科 名	内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、内分泌内科、脳神経内科、精神科、小児科、外科、形成外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、救急科、アレルギー科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科					
病 床 数	精 神	感 染 症	結 核	療 養	一 般	合 計
					370床	370床

2 施設の構造設備

施 設 名	設 備 概 要
集 中 治 療 室	(主な設備) 救急蘇生装置、除細動器、ペースメーカー、心電計、ポータブルエックス線撮影装置、呼吸循環監視装置、人工呼吸装置、微量輸液装置、超音波診断装置、心電図モニター装置 病床数 10床
化 学 検 査 室	(主な設備) 生化学自動分析装置、免疫自動分析装置、糖尿病検査装置
細 菌 検 査 室	(主な設備) 血液培養自動分析装置、微生物同定感受性装置
病 理 検 査 室	(主な設備) 自動固定包埋装置、感染防止付凍結ミクロトーム
病 理 解 剖 室	(主な設備) 解剖台、医用写真撮影装置
研 究 室	(主な設備) 電子カルテ、机、椅子

講義室	室数 2室	収容定員 130人
図書室	室数 1室	蔵書数 368冊程度 インターネット電子書籍
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) トヨタ自動車 TRH2000K-VTZYB ストレッチャー	保有台数 1台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 62.53m ² [共用室の場合] 室と共用	

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 規則第9条の2第1項各号に掲げる事項を記載した書類を添付すること。

別紙 1

紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

1 算定期間 2022年 4月 1日 ~ 2023年 3月 31日

2 紹介率 67.1%

紹介患者の数 (A)	初診患者の数 (B)	紹介率 (A/B×100)
9,530人	14,198人	67.1%

3 逆紹介率 92.1%

逆紹介患者の数 (C)	初診患者の数 (B)	逆紹介率 (C/B×100)
13,089人	14,198人	92.1%

※1 各人数については、前年度の延べ人数を記入すること。

※2 紹介率及び逆紹介率は、小数点以下第1位まで記入すること。

※3 紹介率が80%以上であることを承認の要件とする場合で、紹介率が65%以上80%未満の病院にあつては、今後、2年間で紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を明らかにする書類を添付すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

共同利用の実績
(地域の医療従事者による診療、研究又は研修のための利用)

1 共同利用の実績

※1 前年度の共同利用を行った医療機関の延べ機関数、これらの医療機関のうち申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数、共同利用に係る病床の病床利用率等を記入すること。

- ・共同利用を行った医療機関の延べ機関数：1,019
- ・これらの医療機関のうち申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数：1,019
- ・共同利用に係る病床の病床利用率：2.0%

2 共同利用の範囲等

※2 病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象としたものを記入すること。

診療及び検査に必要な医療機器等（MR I、CT、冠動脈CT、腹部エコー、骨塩定量、胃内視鏡、大腸内視鏡、ホルター心電図）、開放型病床（5床）、電子カルテ

共同利用に関する規程	【有】 ・ 無	
利用医師等登録制度の担当者	氏 名	
	職 種	医師（地域医療連携センター長）

※3 共同利用に関する規程がある場合には、当該規程の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医 療 機 関 名	開設者名	住 所	主たる診療科	申請者との経営上の関係
※別紙参照				

※4 申請に係る病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関についてのみ記入すること。

5 常時共同利用可能な病床数 5床

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

救急医療提供の実績

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職 種	氏 名	勤 務 の 態 様	勤 務 時 間	備 考				
		別紙のとおり	<table border="1"> <tr> <td>常勤</td> <td>専従</td> </tr> <tr> <td>非常勤</td> <td>非専従</td> </tr> </table>	常勤	専従	非常勤	非専従		
常勤	専従								
非常勤	非専従								

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	名称 (ICU病棟) 10床
専用病床	名称 () 床

※ 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記入すること。

3 重症救急患者に必要な検査又は治療を行うために必要な診療施設の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要	24時間使用の可否
救急外来	322.12㎡	(主な設備) 除細動器、超音波診断装置、縫合セット、心電図モニター、心電計(短時間:100KV)・ルーカス	可
ICU病棟	274.32㎡	(主な設備) 気管挿管セット2台、手動式除細動器、体外式SS Iペースメーカー、心電図(短時間:100KV)、V L974Pセントラルモニタリングシステム、ピューリタンベネット840、超音波診断装置	可
手術室	453.01㎡	(主な設備) 手術器具、手術材料、心電図モニター、分離式電動手術台7台、気管挿管セット、脳神経外科ナビゲーションシステム、除細動器、セルセーバー、麻酔器6台 他	可
エックス線診療室	705.46㎡	(主な設備) CT、MRI、一般撮影、血管撮影、X線TV	可
内視鏡室	62.78㎡	(主な設備) 胃十二指腸ファイバースコープ、大腸ファイバースコープ	可

4 救急医療の提供の実績

救急用又は患者搬送用の自動車により搬入した救急患者の延べ数	4,453人(1,617人)
上記以外の救急患者の延べ数	4,213人(824人)
合計	8,666人(2,441人)

※ () 内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

5 保有する救急用又は患者搬送用の自動車の出動回数 0 回

6 備考

- ・救急病院の認定告示 令和3年10月12日（認定期間令和3年10月10日～令和6年10月9日）
- ・病院群輪番制病院

※特定の診療科において、重症救急患者の受入れ体制を確保する場合は、その旨を記入すること。

既に、「救急病院等を定める省令」（昭和39年厚生省令第8号）に基づき知事の救急病院の認定を受けている病院及び「救急医療対策の整備事業について」（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

1 研修の内容

別紙参照

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	26回
(2) (1) の合計研修者数	794人

※ 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無 【有】・無

(2) 研修委員会の有無 【有】・無

(3) 研修指導者

氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	備考
	医師	腎臓内科	副院長・教授	34年	研修責任者
	看護師		看護科長	23年	
	薬剤師		部長	38年	
	臨床検査技師		主任	32年	
	放射線技師		副主任	12年	
	理学療法士		主任	19年	
	事務員			3年	
	事務員		係長	20年	

※ 研修責任者については、備考欄にその旨を記入すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
第一会議室	99.5㎡	(主な設備) プロジェクター、モニター、長机、椅子、マイク

第二会議室	24.28m ²	(主な設備) プロジェクター、モニター、長机、椅子
第三会議室	62.92m ²	(主な設備) モニター、長机、椅子
講義室	69.92m ²	(主な設備) プロジェクター、モニター、長机、椅子、マイク

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

1 管理責任者等

	氏 名	職 種	役 職 等
管理責任者の 氏名、職種、役職等		医師	病院長
管理担当者の 氏名、職種、役職等		医師	地域医療連携センター長

2 諸記録の保管場所及び分類方法

	保 管 場 所	分 類 方 法	
<p>診療に関する諸記録</p> <p>病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約</p>	<p>病院日誌 →総務課</p> <p>各課診療日誌 →各診療科外来</p> <p>その他 →医療情報システム部</p>	<p>病院日誌 →日付順</p> <p>各課診療日誌 →日付順</p> <p>その他 →医療情報システム</p>	
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携センター	日付順
	救急医療の提供の実績	地域医療連携センター	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域医療連携センター	日付順
	閲覧の実績		
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療情報センター	日付順

※ 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法
及び閲覧の実績

閲覧責任者	氏 名		職 種		役 職 等	
			医師		病院長	
閲覧担当者	氏 名		職 種		役 職 等	
			医師		地域医療連携センター長	
閲覧場所	地域医療連携センター ID-Linkは各医療機関のPC					
総閲覧件数	医 師	歯科医師	地方公共 団 体	そ の 他		合 計
	3,100					3,100
閲覧手続の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・診療録は電子カルテ使用・閲覧許可申請書(教職員以外用)による申請 ・病院日誌・各科診療日誌・病院の管理及び運営に関する諸記録は、閲覧希望日を事前に地域医療連携センターへ申請 ・ID-Linkは利用規定通り(申請書提出後、各医療機関に設定された端末から紹介いただき同意を得た患者について診療録を閲覧することが可能) 					

医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績

1 委員会の開催回数 4回

2 委員会における議事の概要

※委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

【第1回】

開催日時：2022年6月2日（木） 14：00～15：00

開催場所：藤田医科大学ばんだね病院 第一会議室

出席者：院内委員 10名 院外委員 11名 （合計 21名/総数 24名）

<議事次第>

1、病院長あいさつ

2、議事

(1) 報告事項

①紹介率/逆紹介率について

②共同利用について

③救急医療提供の実績について

(2) 当院よりお知らせ

①研修活動の実績およびご案内

②新しく着任した医師の紹介

(3) 協議事項

①各委員の皆様からの意見・ご要望

②次回開催予定について

3、閉会

【第2回】

開催日時：2022年8月4日（木） 14：00～15：00

開催場所：藤田医科大学ばんだね病院 WEB開催

出席者：院内委員 11名 院外委員 10名 （合計 21名/総数 24名）

<議事次第>

1、病院長あいさつ

2、議事

(1) 報告事項

①紹介率/逆紹介率について

②共同利用について

③救急医療提供の実績について

(2) 診療科からのお知らせ

①耳鼻咽喉科の最新治療の紹介

②整形外科 大腿骨近位部骨折に対する48時間以内の手術適応

③形成外科の紹介

(3) 当院よりお知らせ

①講演会・研修会の開催予定

(4) 協議事項

①各委員の皆様からの意見・ご要望

②次回開催予定について

3、閉会

【第3回】

開催日時：2022年10月6日（木） 14：00～15：00

開催場所：藤田医科大学ばんだね病院 第一会議室

出席者：院内委員 10名 院外委員 12名 （合計 22名/総数 25名）

<議事次第>

1、病院長あいさつ

2、議事

(1) 報告事項

①紹介率/逆紹介率について

②共同利用について

③救急医療提供の実績について

(2) 当院よりお知らせ

①内科学講座/循環器内科の紹介

②講演会・研修会の報告と開催予定

(3) 協議事項

①各委員の皆様からの意見・ご要望

②次回開催予定について

3、閉会

【第4回】

開催日時：2023年2月2日（木） 14：00～15：00

開催場所：藤田医科大学ばんだね病院 第一会議室

出席者：院内委員 9名 院外委員 9名 （合計 18名/総数 21名）

< 議事次第 >

1、病院長あいさつ

2、議事

(1) 報告事項

- ①紹介率/逆紹介率について
- ②共同利用について
- ③救急医療提供の実績について

(2) 当院よりお知らせ

- ①新しく着任した医師の紹介
- ②講演会・研修会の開催予定
- ③2023年度 開催日程

(3) 協議事項

- ①各委員の皆様からの意見・ご要望
- ②次回開催予定について

3、閉会

患者相談の実績

患者相談を行った場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域医療連携センター「ご相談窓口」 ・ 患者相談窓口「総合案内」 		
患者相談担当者	氏 名	職 種	役 職 等
	医療ソーシャルワーカー 医療ソーシャルワーカー 医療ソーシャルワーカー 医療ソーシャルワーカー		主任
患者相談件数	23,347 件		

患者相談時間；8：45～17：00（平日）
 8：45～12：30（土曜日）

患者相談の概要

療養中の心理社会的問題	88件
受診・受療に関する相談	203件
転院や施設入所	16,659件
在宅療養	4,884件
経済面に関する相談	252件
制度活用に関する相談	603件
患者・家族に対する背景調査	606件
その他	52件
計	23,347件

※ 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

居宅等における医療の提供の推進に関する支援の状況

居宅等医療提供施設等における連携の緊密化のための支援等の実績

①サービス担当者会議の積極的な実施（退院前カンファレンスの開催）

介護連携指導書の作成の徹底 2022年度介護支援連携指導料算定 68件

②「愛知県退院調整看護師学習会」への参加（年5回開催）

③退院前後訪問実績

- ・病棟看護師による入院患者の退院前訪問実施 11件（新型コロナの感染予防にて大幅減少）
- ・病棟看護師による入院患者の退院後訪問実施 12件（新型コロナの感染予防にて大幅減少）
- ・訪問看護ステーションや居宅介護支援事業所等の職員に向けて研修会「尾頭橋虹の会」をオンラインでの開催：12回/年
- ・地域の健康教育推進のため、地域住民の勤労者に対して、病院看護師による「ばんたね看護セミナー」を例年は開催している。2022年度は、対面での実施とオンラインでの開催を実施した。

④院外の歯科医療機関との連携

当院には歯科がない為、歯科受診が必要な患者については、院外の歯科医療機関訪問歯科診療を依頼し連携をとっている。

⑤地域で共用できる看護連携サマリーを作成し、関係施設に診療情報を提供している。

医療を受ける者又は地域の医療提供施設に対する情報の提供の実績

①退院する患者に対して診療情報提供書の他に、MRI・CTなどの画像、心電図、検査データなどを添付するように努め、地域の医療提供施設に対して情報提供を行っている。

②2014年2月からICTを利用した「藤田医療情報ネットワーク（ID-Link）」によりカルテ記録・検査レポート（MRI・CT・内視鏡など35種）・画像（CR・RF・CT・MRIなど）検査結果・処方内容・基本情報・退院サマリーなどの情報を医療機関へ情報開示している。

③地域医療連携パスにおいてはパスシートを使用し、情報共有している。

④市民向けの公開講座の開催を病院ホームページ内に掲載している。

⑤「病診連携学術講演会」と「医科歯科連携講演会」をそれぞれ年1回開催して、地域の医療機関へ最新の治療などの情報提供と交流を行っている。

その他居宅等における医療の提供の推進に関し必要な支援の実績

- ①名古屋市医師会とともに在宅医療・介護支援システムの構築を検討している。当院の役割として急性増悪時の受け入れ、また在宅医療へのアセスメントの実施を行う。
- ②「藤田医療情報ネットワーク」により地域の医療情報提供施設に迅速な情報提供を行っている。
- ③地域のケアマネージャーとの担当者会議の実施時には主治医が同席出来るよう可能な限り対応している。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

その他地域医療支援病院に求められる取組みの状況

1 連携体制を確保するための専用の室、担当者

専用の室の名称	地域医療連携センター		
担当者	氏名	職種	役職等
		医師	地域医療連携センター長

2 病院の機能に関する第三者による評価

評価を行った機関名	公益財団法人日本医療機能評価機構
評価を受けた時期	2018年7月28日～2023年7月27日

※ 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

3 退院調整部門の取組

退院調整部門の実績

【担当部署】 入退院支援室（看護師4名）、医療福祉相談室（医療ソーシャルワーカー4名）
医療連携室（事務員6名）

退院調整部門の実績

【担当部署】 入退院支援室（看護師4名）、医療福祉相談室（医療ソーシャルワーカー4名）
医療連携室（事務員6名）

【内容】

2016年4月より退院支援室を設置し、退院支援室看護師と医療ソーシャルワーカーが入院中の患者の退院に関して専門性を発揮しながら、協働して退院支援に当たっている。2018年4月、退院支援室から入退院支援室へ名称変更し、入院前からの退院支援に取り組んでいる。

医療ソーシャルワーカーは、当院での入院加療を終えた患者に対して、次の療養先となる医療機関（転院先）や介護福祉施設、在宅介護サービスへの移行を含めた支援を行っている。

また、医療ソーシャルワーカー及び入退院支援室看護師は、各病棟の退院支援リンクナースと2病棟毎に1名配置（全体で4名）されている退院支援専従看護師・医療ソーシャルワーカーと協働しながら、早期からの退院支援の介入を実施し、退院困難となり得る患者を抽出。医療ソーシャルワーカーとカンファレンスを実施し、退院支援計画書の立案を行い、患者・家族が安心して退院できるように支援を行っている。医療連携室は前方連携業務として、他医療機関との紹介・逆紹介に関わる役割を担っている。

【実績】

医療相談実績：18件

入退院支援加算1算定件数：168件

介護支援連携指導料算定件数：68件

4 地域連携を促進するための取組みの実績

策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容

【大腿骨頸部骨折連携パス】 一方向型地域連携パス（回復期リハビリ病棟との連携パス）

2022年度実績：66件

【脳卒中地域連携パス】 一方向型地域連携パス（回復期リハビリ病棟との連携パス）

2022年度実績：40件

地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み

・「連携病院会」に登録されている10医療機関への施設訪問・会議での情報交換

5 病院が果たしている役割に関する情報発信の実績

情報発信の方法

病院ホームページ、病院広報誌

内容等の概要

広報誌「病院広報誌 ばんたねニュース」および「ばんたねネットワーク」当院のご案内、お知らせ、告知など

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。